

建設水道委員会会議録

1. 開催年月日

平成29年 7月 7日 開会 14時14分 閉会 14時39分

2. 開催場所

委員会室

3. 出席委員名

荒木謙二 坊野公治 大滝文則 上野安是

細羽敏彦 多賀信祥

4. 欠席委員名

なし

5. その他の会議出席者

(1) 議長 西田久志

(2) 副議長 惣台己吉

(3) 事務局職員

事務局長 川田純士 事務局次長 岡田光雄

主査 柳本兼志

6. 傍聴者

(1) 議員 なし

(2) 一般 0名

(3) 報道 0名

7. 発言の概要

委員長（荒木謙二君） ただいまから建設水道委員会を開催いたします。

〈議長あいさつ〉

(1) 所管事務調査事項について

委員長（荒木謙二君） 本日の所管事務調査事項は、作業場付市営住宅等の建設の可能性を探るための調査についてであります。

前回は、前期の委員会による所管事務調査内容を把握し、次回の委員会において、今後の調査の方向性や調査・研究方法など、今後の所管事務調査の進め方について検討することに

しておりました。

皆さんのご意見をお伺いします。

委員（大滝文則君） 前もお話しましたけれども、作業場付市営住宅の可能性はほぼゼロじゃないかと思うんで、9月までにどういうふうな調査を行うかということをもう一遍協議しようじゃないかということがあったと思うんですけど、この辺りはどのように進めるんですか。

委員長（荒木謙二君） 前回は所管事務調査をするに当たって、課題や問題等々があると思うんで、それぞれが調べてきて、今日の委員会で発表していただいて、それに基づき今後の方針をどういった形にするか考えようということだったと思います。

委員（大滝文則君） 先般も言いましたけど、作業場付市営住宅建設の可能性は現執行部ではほぼゼロだと思いますので、となるとどういうふうな方法があるかということで、提案なんですけど、移住定住支援策の可能性を探るための調査という中で、執行部はイバラノミクスの中のリフォーム補助金とか新築補助金の方で対応しているということになると思うので、これもなかなか難しいかもしれませんが、各市町の先進事例も探りながら、定住支援策としてこういうふうにしたらいんじゃないかというふうに持っていくのがいいんじゃないかと思います。

岡山県は少ないらしいんですけど、市独自で支援策を講じているところもありますので、その辺を勉強して報告書としてまとめて、執行部の方へあげるあげないは別として委員会として研究したらいいのではないかという思いを持っています、今のところ。

名前としては、移住定住支援策の可能性を探るための調査みたいな名前にして、元気いばら、まち・ひと・しごと総合戦略や7次総でも同じことが出ると思うんですけど、新しいひとの流れをつくるという中で、移住の促進というのが具体的な施策に上がっています。そういう中で現実的にどういうふうなことが考えられるかということを経験として提案していきける体制を整えていくのがベターではないかというふうに今のところ思っています。

委員（上野安是君） 大滝委員も言われましたけれど、実際の市営住宅へ作業場をひつつけるというのは、この委員会としては引き継ぎましたけど、難しい法律上のしほりもありますので難しいという結論をどのタイミングで出すかということになろうかと思います。そうすると、それから先は、実際にこれは昨年青野で聞いたことなんですけど、青野の方からすればどこかに住宅と作業場がひつついたものがあるという話になろうかと思うんです。今現状住まれているところでそれにひつつかないかという話もあったんですけど、それはそれで市営住宅だから無理だという結論は出てきているのかなということなので、先程大滝委員も言われたように、移住定住に関してですね、どこまでバックアップしてもらえるか、どこまで市

としてできるかみたいなところを探っていくのがいいのではと思います。

委員（細羽敏彦君） 私も大滝委員とほとんど一緒なんですが、新しいところへ市営住宅を作るといっても何人ぐらい住める市営住宅を作るのかわからないが、とても今の状態では無理だと思うんです。土地の問題や長い間住まわれるか未定とのことなので、ちょっと無理だと思います。大滝委員が言われたとおりだと思います。

委員（多賀信祥君） 今、聞かれているのは、現在の所管事務調査の作業場付市営住宅についての方向性だと思うんですけど、私自身は皆さん言われているような意見はないんですが、ただ興味があるところでいうと、一個人の方が言われていて要望を出されているということと、それが就農されている方皆さんが思われていることかもしれないんですけど、根本の原因というのがそこだけなのか、また初期投資がかなりたくさんかかるから目先の困っていることを言われているのか、その辺が深い問題だと思うので、私自身はそこまで探ってから方向性を決めた方がいいのではと思うんですが、すぐに項目を変える必要があるのであればそういう訳にはいかないと思いますが、私自身根本的な問題を把握できていないので、はっきりした意見が言えません。

委員（坊野公治君） 私も作業場付市営住宅というくくりとするのが法律的に無理ということであれば、これを突き詰めていくのは難しいかなと考えます。その中で先程大滝委員が言われたように今の井原市の施策の中での移住定住支援策を探る、例えば今の新築補助金とかリフォーム補助金を使って作業場を建てるのを、今は難しいと思うんですけど、そういうふうなものに使えるようになるのか、就農に関してという条件がつくとは思いますが、そうした現実的に可能性がある方向で探っていくほうが、まだ先が見えてくるのかなというふうに考えますので、私も大滝文則議員が言われた事を中心に考えて進めていく方がいいかなと考えます。

委員長（荒木謙二君） まとめますと、大滝委員の言われたような移住定住支援策の拡充に向けた可能性の調査のようなものをこの委員会で進めたらといったご意見が多かったと思います。

この委員会の所管事務調査としては作業場付市営住宅についてでここまで来たわけですが、執行部の答弁では公営住宅法によると、なかなか作業場付市営住宅は難しいという回答がありました。

皆様方の意見をまとめますと、移住定住支援策の拡充についてを他市町の研究もしながら進めるということで、よろしいでしょうか。

〈異議なし〉

(2) その他

〈委員会行政視察について〉

〈候補先：綾部市・米原市・郡山市、補欠1. 橋本市、補欠2. 京丹後市に決定〉

〈委員会名の変更について〉

〈委員会から委員会名変更を議会運営委員会に提案しないことに決定〉

〈議長あいさつ〉

委員長（荒木謙二君） 以上で、建設水道委員会を閉会いたします。